

児童・生徒・園児の人権作品紹介

人権文化をすすめる町民運動に募集された町内の児童・生徒の人権作文・詩の優秀作品を紹介いたします。これらの作品は、子どもの純粋な心と鋭い感性で問題をとらえ、子どもの切なる願いがあらわれ、心を打たれるものがあります。また、幼稚園児のほのぼのと心温まるスケッチも掲載しています。ぜひ、皆さんご一読ください。

平成17年度全国中学生人権作文
コンテスト兵庫大会地区予選
奨励賞受賞作品
うさぎが教えてくれたこと...
播磨中学校
1年 高崎美公

私はただ気づいていなかっただけなのだ。身近にいる生き物や人が、一生懸命何かを伝えようとしていたことに。それは、少し立ちどまって、耳をすましてみればわかるようなことだ。でも、耳をすまそうとしていなかった。だから聞こえてこなかった。残念なことに、今の世の中は、耳をすまそうとしている人が少ないと思う。もう少し心をときすまして、積極的に聞こうとしたら良いと思う。

実は、私はうさぎを飼っている。飼うまでは知らなかったが、うさぎは意外と感情が豊かで、何かを伝えようと必死になることもある。たとえば、遊んでほしいときは、私の足

をつんつんと鼻でつつく。また、人間だけでもり上がっているときは、自分の存在をアピールするため、わざと紙をかじったり、物をひっくり返して音を立てる。あたり前のことなのだが、うさぎがこんなに複雑な思考をしているとは、思っていなかった。

人間におきかえても同じだ。しゃべれない人や、うまく言葉に表せない人など、障害をもっている人も、何かを伝えようとしている。でもこのような人達は、何か困った事があっても伝えることができない。だから、こちらがよく耳をすまし、気づいてあげなくてはならない。ある日、障害を持っている人ではないが、荷物をたくさん持って困っている人がいたので、私は、「持ちましょうか。」と言って手伝ったことがある。人の気持ちなんて、わからないという人もいるかもしれないけど、このように、相手の立場になって考えれば、すぐにわかる簡単なこともあるのだ。



「おおきな てんとうむし みつけた」
播磨西幼稚園 3歳児 さくらい やまと

だからこれからは、老人、子供、友達、ペットなどの、身近な命に耳をかたむけてみようと思った。本当は何が言いたいのだろう？ 何をしたいのだろう？ きっと、よく観察して、よく考えれば答えは見つかると思う。

夏、この季節になると、セミができて、ミンミン鳴いている。実際今も私の近くでジーシューと、耳が痛くなるほど大きな声で鳴いている。いつもは「うるさいなあ。」といやな気分になるが、ふと思つてこのセミも今、何かを必死で伝えようとしているのだなと感じた。何を伝えようとしているかはわからなかったけど、鳴き声からして、とても必死

だということとは、よくわかった。一週間の命なのだから、必死になるのも当然だろう。

もし、私が全ての生き物の気持ちが分かったら、とても耐えられないだろう。一瞬で気を失ってしまうかもしれない。それだけ地球にはたくさん人の命があって、たくさん人の思いがあるのだ。その思いを、すべて理解することは不可能だが、自分の周りには、身近な命の思いなら、理解することができると思う。相手の気持ちをわかってあげ、困っているのなら、助けてあげる。そうやって、身近な命の力になりたい。世の中には、弱い立場の人もたくさんいる。すなわち、障害をもっている人や、

老人、子供のことだ。強い立場の人で見えなくなっているが、かげではたくさんいるだろう。そんな人達は、一人で生きていくのはむずかしい。だからこそ、その人達がかくれないように、あたたかい雰囲気をつくっていかなくてはならないと思う。

私は、うさぎを飼うことによって、他の生き物の気持ちがわかるようになったと思う。うさぎに何かを伝えながら、言葉以外のコミュニケーションができていくから、人間でも少しづつできるよつになると思う。それに、相手が一生懸命伝えようとして、こちらがよく聞こうとしていたらなんとなく伝わると思う。

これからは、自分で何かを伝えることができる、弱い立場の人にも気を配り、あたたかく接してあげたい。そのためには、普段から、すみずみまで目をやり、よく耳をすまして、近くに助けを求めている命がないか、確認しながら生活しようと思う。そして、うさぎが教えてくれた、色々なことをむだにしないよう、一つ一つ、実感しながら生きていこうと思う。



じいちゃんへ

播磨南中学校
1年 青木 絵美

じいちゃん天国でもみんなの人気者ですか
何でもよく知っていたもんね
もっとたくさん話をしたかったよ
もっといっしょにいたかったよ
もっといろいろ教えてほしかったよ
もっとあそびたかったよ
もっとでかけたりしたかったよ
でも、もう大好きなじいちゃんはいない
もつといっしょにいたかったよ
私は元気だよ



「なかよし おんぶバッタを
みつけたよ!」
蓮池幼稚園
5歳児 たかお こうへい

ほんとはすいごお母さん

播磨南小学校
3年 筒井 浩平

ぼくのお母さんは病院で、かんご助手をしていました。入院しているかんごさんのお手つたいをする仕事だそうです。ベットから動いたらいけないかんごさんは、トイレに行かないのでオムツをこうかんしたり、手のふ自由なかんごさんには、おんがえのかいじょをするそうです。おふろのお手つたいもします。シャワーをしてあげたりするそうです。

ぼくは「オムツをかえたりしてきかないな。小さいイヤだな。」って言いました。そしたらお母さんが「いいにおいのするウンチなんかないよ。」とわらいながら言いました。それに「かんごさんのほうがきつとイヤな思いをしているよ。だけどケガや病気を早くなおすためにがまんしてくれているんだよ。」と言いました。

お母さんは「おせわをしているんじゃないかってお手つたいをさせていた言いました。ぼくのお母さんは家にいるといつもすくおこるし、うるさいけど、本当は」とつてもやさしいがんばりやさんなんだな。」と思いました。

すなおになれない私の強がり

蓮池小学校
6年 瀧本 百花

「おともだちが たけぼっくり
しているの おうえんしているよ」
播磨幼稚園 4歳児 おちかざ うみ

ケンカした
仲良しだった友だちと
ケンカした
ほんのささいなことでも...
自分が悪いってわかってた
でもあやまりたくない
あやまったらこっちが負けみたいじゃない
そんなのいや だからあやまらない

いじはってた
強がってた
自分の気持ちにすなおになると
悲しい思いがどんどん心からあふれ出す
こうかいしないように
ちゃんとあやまるって決めた
私は次の日学校へ行った
私の顔には笑顔がもどっていた

運動会

播磨小学校



▲よしっ! 決まった!

感が満ちあふれていました。

10月7日(金)、今日は子どもたちが楽しみにしていた遠足の日です。今回は特に6年生の遠足をご紹介します。



三段の塔が立ち上がり、笛の合図で全員がピシッとポーズを決めたとき、大きな歓声と拍手が運動場にわき起こりました。

秋の遠足

播磨北小学校



▲美しく輝く金閣寺の前でポーズ!

行き先は京都方面。最初は清水寺、次に金閣寺に行きました。金閣寺は、社会科の歴史の時間にも学習しましたが、教科書に出ていた通りの金色に輝いていましたので、子どもたちはずいぶん驚いていました。でも、一番の楽しみは、やはりお弁当の時間でしょうか。太秦映画村での昼食は、タイムスリップした雰囲気の中で、独特なものがありました。今の子どもは、あまりテレビの時代劇は見ないかも知れませんが、それでも口元現場の見物は興味津々でした。

運動会

播磨南小学校



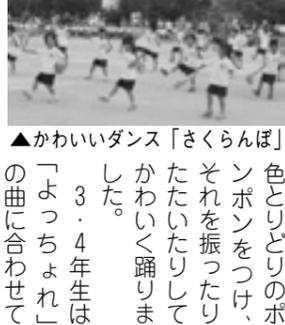
▲かわいいダンス

今年も子どもたちの一人ひとりが、それぞれのベストを尽くしてがんばった運動会になりました。

今年「南っ子 自分の1(ベスト)をしまりだせ!」のテーマのもと、子どもたちは一生懸命、演技に取り組みました。1・2年生は大塚愛の「さくらんぼ」の曲に合わせてダンスを踊りました。ペットボトルの色とりどりのポンポンをつけ、それを振り回したりたたいたりしてかわいく踊りました。

南っ子 自分の1(ベスト)をしまりだせ!

播磨南小学校

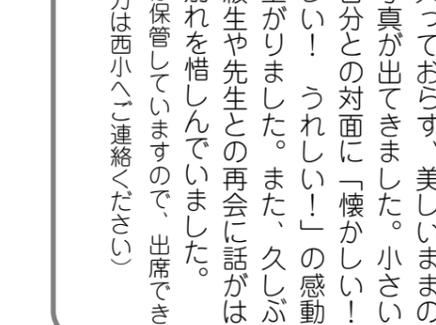


▲かわいく踊りました

3・4年生は「よっちょよれ」の曲に合わせて踊りました。赤・青・緑・黄色の鳴子を持ち、「カチツ、カチツ」と力強い音が運動場に響き渡りました。

秋の遠足

蓮池小学校



▲お弁当やおやつは、噴水のまわりで食べました。楽しいことがいっぱいあった遠足でした。

10月14日(金)は、子どもたちが楽しみにしていた遠足です。2年生はバスに乗って、「しあわせの村」に出発しました。目的は2つ。秋見つけとトリム園地で遊ぶことです。「しあわせの村」の日本庭園には秋がいっぱい。すすき、どんぐり、赤や黄色の木の葉。子どもたちは、楽しそうにどんぐりを拾っていました。

“先輩に続け”を合言葉に!!

播磨中学校



▲全力で臨んだ新人戦



2年生が主力の新人戦が9月30日(金)、10月1日(土)の両日に行われました。3年生は夏に引退し、暑く暑い夏休み中の練習も、1・2年生の部員でやりました。時々、3年生の先輩が来て、「コーチしてくれました。結果は、剣道男女が団体優勝、女子個人優勝、準優勝、第3位、男子個人第3位、野球準優勝、男女バレー準優勝という成績で、東播大会出場となりました。

あしなが学生募金に参加して

播磨南高校ボランティア委員

10月22日(土)、23日(日)に、JR加古川駅前で行われた『第71回あしなが学生募金』に参加しました。両日とも朝10時から、夕方5時過ぎまでJR加古川駅前および駅周辺の街頭で、大声を上げてあしなが学生募金への協力を呼び掛けました。ずっと立ちっぱなしで足が棒のようになりそうでしたが、募金をしてくださった方々の温かい言葉を耳にするたびに、自らを奮い立たせて遺児たちのために声を張り上げました。2日間とも朝から冷え込みが激しかったのですが、それ以上に募金をしてくださいました。この2日間、親を失った、あるいは親が重度の障害を抱えているがために働くことの出来ない親を持つ遺児たちのために、少しでも夢の実現に近づけるように協力することが出来たことを幸せに思うと同時に、1人でも多くの遺児が夢を実現できるようにこれからも出来る限り協力していきたいと思えます。

家庭教育学級「美味しいお弁当を作ろう」

播磨南中学校



▼おいしいお弁当を作ります

今年、いつになく暑い日が続く、やっと秋らしくなってきた10月、家庭教育学級では、5日(水)、育ち盛りの子どもたちにふさわしいお弁当の作り方に取り組みました。料理研究家の庄中文字様を講師に招き、2時間程、大変忙しく、また楽しく、たくさんのおかず作り挑戦し、大変有意義なひとときを過ごしました。中には「明日、早速お弁当のおかずに使います」と、ちゃっかりとした話も聞かれました。

私は2年前まで、仕事の都合で3年間、南米アルゼンチンの首都、ブエノスアイレスに家族と共に住んでいました。公用語のスペイン語は全く話せなかったし、治安も決して良くない国です。

しかし、「住めば都」とは、よくいったもので、私にとってアルゼンチンは、とってもいい国でした。「俺には、ラテンの血が流れているんだ」と、本気で永住を考えたこともありました。アルゼンチンを愛する理由はいろいろありますが、赴任当初から、「アルゼンチンを知ろう」「アルゼンチンで楽しもう」「アルゼンチン人になってしまおう」と、心掛けていたのが最大の要因だと思えます。

そうしていくことで、たくさん友人(アミーゴ)を持つことができました。サッカーのアルゼンチン代表が勝利した時には狂喜し、イングランドに惨敗したときには涙しながら、彼らと同じく、心からアルゼンチンを愛していったのです。

さて、すっかりアルゼンチン人になった私が、日本に帰ってきました。「日本に慣れるのに2年かかるよ」と、職場の先輩に言われた通り、昨年はアルゼンチンに帰りたいくらい仕方ありませんでした。まるで自分が外国人になったような気分でした。

そんな私に転機が訪れました。今年度、古田東の子供会の役員になったのです。公園掃除、廃品回収、夏祭りに秋祭り、数々

の行事を通して、多くの方と知り合えることができました。外国人だった自分が、播磨町民(古田東人?)になっていったのです。秋祭りで古田東のついでに来て練り歩く気分は最高! その後のお疲れ様会も最高! でした。

今は、「播磨町を知ろう」「播磨町で楽しもう」「俺は、播磨町民(古田東のおっさん)だ」と、思っています。仲間に入れて下さった皆さまに心から感謝し、播磨町、そして古田東をこれからもずっと、愛していきたいと思っています。

このエッセーを読んだ皆さま、一緒に飲みに行きませんか?

今年も支援センターで昔から伝わる、わらべうた遊びを、親子で楽しみました。おすわりやす、いすだっせ、あんまりのつたら、こけまつせ。

子どもと向き合い、手を合わせ、ホッペをなでたり体を揺さぶり、コチヨコチヨとくすぐったり、ぎゅっと抱きしめて…。頭から足の先までお母さんの手が何度も触れてまわります。子どもはその感触と、お母さんの優しい声で心地良くなつて、ひざの上で、腕の中で満面の笑顔です。私たち大人の方もいつしか、本来の優しい穏やかな気分になつていることに、気付きました。

子どもは遊びを通して、様々なことを学んでいきます。人を信じることに、交わることに、体を動かす心地よさ、自分の言葉で話す楽しさ、季節や美しいものに感動しそれを共有し合う喜びなど、人としての基本を楽しい遊びの中で深め、培っていきます。

子どもと一緒に —わらべうた遊び— 子育て支援センター

もその範囲はとても広く、遊びの質も問題になります。大切なことは、「遊び」に人との交流、温もりがだけだたくさん含まれているかということ。普段の生活リズムの中に「遊び」を食事や睡眠と同じくらい大切に考えて欲しいものです。子どもと一緒に散歩したり絵本を読んだりする中にもう一つ、1日一回子どもを抱き寄せて、わらべうた遊びを一緒に楽しむことを、続けてみませんか。子どもと遊んでいるうちにきっと、子どもの気持ちや何をしたいのかなどを、感じ取れるようになってきます。私たち大人の子どもに對する思いも伝わるようになってくるでしょう。

思いきりぎゅっと抱きしめながら、子どもと楽しい経験を積み重ねていきたいですね。



「遊び」と一言で言っ

あなたに
はつたつた

リレーエッセー⑧

播磨町民になろう!



池田 浩二さん (古田東)

愛しているもの 家族、アルゼンチン、アミーゴたち、そして播磨町。
写真の説明 アルゼンチンのアミーゴたちと(左端のTシャツの変な日本語に注目!)

作るの だーいすき!!



かき氷をつくっているよ

播磨幼稚園

今度はどんな素材が、どんなものに変身するのか楽しみです。

また、牛乳パックや空き箱、プリンのカップなどを組み合わせてロボットを作ったり、ラップのしんや広告の紙で剣を作ったりと、家庭では廃品となるものが子どもたちの手にかかれば、あつという間に遊び道具に変身です。

「たこ焼き屋さんでーす」と、たまごパックに、新聞紙を丸めて作ったたこ焼きを入れて売っています。「こっちは、お寿司屋さん」「かき氷屋さんもあるよ」と、いろいろな素材を使って品物を作り、お店やさんが大繁盛です。お客さんは財布やお金を作って、買い物を楽しんでいきます。

また、牛乳パックや空き箱、プリンのカップなどを組み合わせてロボットを作ったり、ラップのしんや広告の紙で剣を作ったりと、家庭では廃品となるものが子どもたちの手にかかれば、あつという間に遊び道具に変身です。



たこ焼き 100円です!

お山へ遠足にいったよ!!

蓮池幼稚園



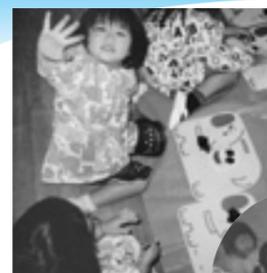
▲がんばって登るよ!

さあ、お山に到着。年長児は「大きい組になったら、山登りができる!」と、楽しみにしていた、あこがれの山登りにさっそく挑戦。「わあー、すごい坂や」「すべるー!」「下を見たら怖いでー!」と言いがらも、パワーいっぱいチャレンジャーも、パワーいっぱいチャレンジャー。年少児は、お馬のポニーに大喜び。年少児は、お馬のポニーに好物のニンジンを手ひらにのせて「ニンジャー」。そして、「あつ、ポニーにハロッとされた!」と、びびくり顔。「ああお腹がすいた!」。青空の下で皆と一緒に弁当を食べていたね。



「小麦粉粘土って気持ちいい!!」

播磨西幼稚園



こんな手になったあ

日は、「ほくの顔、わたしの顔」を作りました。丸い顔に細い顔、大きい口におちよほ口、いろんな楽しい顔のできあがり。

「あー楽しかった!」
「またしようね!」

粘土遊びが大好きな年少児。「先生見てー!」「手がネットネトー!」と、大はしゃぎです。こねこねしていると、だんだん粘土に変身してきました。「いい気持ちー!」「もうちょつとしたいー」などと、プヨプヨとした感触を楽しみました。そして今



秋 みつけた

蓮池保育園



▲「何かおるでー」

「きょうは、どこへいこうかな」。みんなで作った『おさんぽマップ』を見ながら「きたーんえんじいじい。すみよしじんじやがい」と、行ってみたいところがいっぱい。さわやかな秋風の中、かかしさんに「こんにちは」。出会う人にも元気よく「こんにちは」と、あいさつします。目的地では、秋探しに夢中です。「さんぽすかん」を片手に、木の実や虫を見つけ「あつ、これちゃうん」「そうや、そうや」と、植物博士、虫博士気取りです。これからも秋をいっぱい見つけに行きましょう!



播磨町グラウンド・ゴルフ協会 優秀な成績を収める

10月2日(日)～3日(月)に、岩手県水沢市ふれあいの公園で行われた「第18回全国スポーツ・レクリエーション祭」において、「スポレクいわて2005グラウンド・ゴルフ大会」が開かれました。全国から52チーム252人の選手が集まり技を競い合った大会に、播磨町グラウンド・ゴルフ協会から10人の選手が参加し団体戦、個人戦共にAブロック・Bブロックに分かれてプレーをしました。

団体の部 個人の部 (Bブロック)	Bブロック	12位
優勝 10位	仁井 重夫さん 田中 保さん	

▲岩手県で大健闘した協会の皆さん

淡路景観園芸学校 「まちづくりガーデナー体験」講座が 播磨町で開催されました。

9月28日(水)～30日(金)の3日間、播磨町で、25人の方が参加して体験講座が開催されました。



▲測量や調査、植栽計画を含めての花壇づくり

古宮漁港と住宅の間にある緑地で花壇づくりをするため、グループ別に実地測量、環境調査、植栽計画を行い、最終日には花壇づくりを行いました。また、寄せ植えの実習や、花と緑のまちづくりについて学びました。

お稲荷さん(本荘4丁目)の鳥居が修復されました



▲色鮮やかな朱色が再建されました

本荘4丁目の阿閉神社の東隣に、クスの緑に覆われた社があります。清澄稲荷大明神です。もともとこの神社には檜造りの56基の朱色の鳥居がありましたが、昨午平成16年の台風16・18・23号によって倒壊してしまいました。「先祖代々より大切に守ってきたお稲荷さんを、壊れたままにしておけない」と地元有志の寄付によって、このたび新しく46基の鳥居が建て直されました。町を散策するコースの中に、古くて新しいお稲荷さんを加えてみてはいかがでしょうか。

町内5学童保育所が集まるミニ運動会 第13回学童まつり

町内の5つの学童保育が一同に集まって開かれる学童まつりが、11月13日(日)、播磨南小学校で開催されました。播磨町学童保育連絡協議会の早野哲夫会長にお話を伺うと「コースが増え、学童保育が認知されてきたこともあり、少子化の中でも学童保育の在籍児童数は増えています」とのことでした。今、在籍児童数は200人だそうで、この日も家族と合わせて387人が参加しました。



▲親子ペア、学童っ子ペア、指導員とのペア…仲良しがいっぱい

つ折りにしていくゲームをしたり、実行委員の工夫いっぱい楽しいミニ運動会でした。

豊かなまちづくりのために…ことぶき大学活動報告

高齢者大学「ことぶき大学」は、中央公民館を拠点として、高齢者の生きがいと健康づくりを目指しています。

①ことぶき大学自治会行事
「中央公民館周辺の除草」
春秋の2回、早朝より汗を流して作業を行います。袋詰めした雑草が山積みになって終了したときには、「よく頑張ったものだ」と、疲れを忘れて充実した気持ちになります。

②授業の一環
「ボランティア&ウォーキング」
各コミセンを起点とするウォーキングコースに沿って、健康づくりのためのウォーキングと町を美しくする運動の一環としてごみ拾いを実施しました。

③ことぶき大学自治会クラブ
「フォークダンスクラブ」
デイサービスセンターでのフォークダンス披露と皆さんと一緒に踊る活動。

「歌謡クラブ」
「歌謡クラブ」は、中央公民館を拠点として、高齢者の生きがいと健康づくりを目指しています。

「書道クラブ」
「書道クラブ」子どもいきいき体験隊の講師として子どもたちへの書道の指導とふれあい活動。

「体操クラブ」
「体操クラブ」喜瀬川河川敷内の清掃を計画。

「合唱クラブ」
「合唱クラブ」大中遺跡まつりに出演。

ことぶき大学の学生は、豊かなまちづくりのために、学習を通じて学んだことをボランティア活動に生かし、積極的にまちづくりに参画しています。



▲クリーンアップ活動のようす

ふあ〜みんSHOP播磨6周年を迎えます

地産地消という言葉をご存知でしょうか。地元でとれた農産物を地元で消費しようという言葉です。地元の農産物を取り扱う「ふあ〜みんSHOP播磨」が12月17日(土)の午前9時から、JA兵庫南播磨支店ふれあい会館2階で、第3回農産物品評会と、6周年記念大売出しを行います。



▲新鮮地元野菜をどうぞ

▼問い合わせ 住民グループ ☎07994(35)20064
JA兵庫南播磨支店 ☎07994(35)15991

わんぱくはりまっ子



はぎわら 萩原 康生くん(1さい) 野添

こうちゃんはみんなのたからだよ！
元気にすくすく大きくなあれ！
(パパ・ママより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

皆さまの平成17年はどんな年だったでしょうか。広報担当の私は取材で始まり、取材で終わる1年です。成人式で「本当の大人になるのはこれからです」と話す新成人と出会ったり、スポーツや文化活動の取材では教え子の活躍に歓喜する熱い指導者と出会ったり、イベント会場では参加者の笑顔の周りに、それを支えるボランティアの人々の温かい微笑みを見つかりました。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

12月の放送予定 (収録場所 高砂市)
前半 11月28日(月)～12月11日(日)
●特集 ISO9001を取得しました(稲美町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)
後半 12月12日(月)～25日(日)
●特集 火災予防(加古川市)
●ゆうゆうライフ(稲美町)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組
月・水・金 ①午前9時15分 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①午前8時 ②午後2時 ③午後6時15分
土・日 ①午前8時 ②午後2時 ③午後8時